

ADDS Kids1st荻窪

児童発達支援事業所評価公表（自己評価）

公表日：令和4年3月15日 回収数：9

設問	回答（人）		職員の意見						改善点・目標	
	はい	いいえ								
利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	事前にどの訓練室を使用するか話し合い、スムーズに交代できるよう工夫している。	個別に部屋を区切って支援している。	欠席が出て、スペースが空いてしまっていることが多く、もったいなく感じる。					感染症対策等の面で皆様にお休みのご協力を頂いています。一方でお休みが多い日にはお部屋や職員が空いてしまう状況もあります。感染に不安のない利用者様には、安定した利用をして頂けるように事業所として質の向上を目指していきます。
職員の配置数は適切であるか	9	0	余裕があると感じる							
生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	0	コロナ対策のため、使用後には必ず触れたところを消毒している。	窓の棧が汚れている	毎日職員で最後掃除をしている。	整備と掃除が行き届いていると思う	感染症対策もあり、毎時間ごとに使用した玩具や教材等の消毒をしている。			掃除が行き届いていると感じている職員がいる一方、細かい部分で不十分さを感じている職員もいるようです。職員から意見を聞き、清掃の頻度と項目を見直します。
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	1								
業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	0	振り返りの時間をケース後に設けてもらっている。	支援の後に、支援の内容について振り返りを行っておりその際に改善点を話し合います。	規定の用紙に記入している。	振り返りを行っている。	可能な限り振り返り時間を設けている。今後は目標設定後の確認について時間を取る必要があるため検討中	SVと振り返りを丁寧に実施することが徹底されている		目標設定と振り返りが一定の水準で行われている一方、目標設定後の実施状況の確認については頻度等で改善の余地がありそうです。目標の共有の仕方が適切か等、事業所として検討を行っていきます。
保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0								
事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	問題なしと感じる							
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	8								費用面等、今後行うことが可能か事業所として検討していきます。

設問	回答（人）		職員の意見					改善点・目標	
	はい	いいえ							
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	虐待研修やOJTでの研修を行なっています。	研修システムがしっかり確立されているので、すべての職員の質が非常に高いと思う	定期的にケースにSVが入りセラピストのスキルが担保される仕組みになっている				研修について不十分だと感じている職員もいるようでどのような研修が必要か、改めて職員から意見を聞いていきたいです。
アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	0	個々の子供とご家庭に合わせたアセスメントが非常に丁寧に計画が適切であると思う	定期的に発達検査等のアセスメントを行い、支援計画にも反映している。					職員の評価は良い物でしたが、適切であるかは定期的に見直していく必要があるため利用者様からのご意見等も踏まえ継続して考えていきます。
子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	0	ツールが確立されているので、指導者による指導力のバラつきが抑えられている。	お子様への発達検査や保護者への半構造化面接によるアセスメント等を使用している	個別指導をご利用の場合、発達検査を定期的に行なっています。				アセスメントツールによって指導力のバラツキが抑えられているという自己評価もある一方で、保護者評価ではスキルの開きがあるという意見も出ていました。アセスメントのツールを利用するだけでなく適切に支援に生かしているかどうか、支援の振り返りや支援計画のモニタリングの際に確認したいと考えています。
児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	0							
児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	計画の内容を確認する頻度を上げる必要がある。	問題なし					職員が日々支援計画を確認しやすいような保管方法や場面設定等を検討していきたいと考えています。
活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	チームで丁寧に立案しており、強い問題点があれば、時間がかかってしまうこと	課題構成システムを用いており、お子様に併せて内容を調整している。					より短い時間で効果的な立案を行えるような仕組みづくりを職員間で話し合っています。

設問	回答（人）		職員の意見					改善点・目標	
	はい	いいえ							
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	強い問題点があるとすれば、時間がかかってしまうこと	課題構成システムを用いて、多くの課題からお子様の発達に沿って構成している。					上記と同じく対応するほか、今後多様な職員が働きやすいように会議の時間の調整・厳守やその他の業務の整理等で効率化を図ってまいります。
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	8	1							
支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	3	個別指導の場合は前回の振り返りの際に決めた準備を各自で行います。集団指導は打ち合わせを行っています。	個別支援は特に必要ないが、集団活動の支援は行っている。	必ずでは無いが、担当制のため毎回の打ち合わせは必要ない。集団指導など複数名で担当する場合には実施されている。	強い問題点があるとすれば、時間がかかってしまうこと	集団活動など複数のセラピストで支援を行うプログラムについては、支援者間で活動内容や支援方法等共有を行っている。		1対1で行う個別指導の担当者が多いことと、個別指導ではお子さんに合わせた課題が課題表で決まっているためにこのような結果となりました。個別指導であっても、前回の担当者と担当変更がある場合には引継ぎを行うことを継続して周知し、疑問点や困った点は指導前に他の職員に確認できるよう声掛けの機会を増やしていきます。
支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	2	用紙に記入、支援の躰きポイントは相談している。	担当制の個別指導がメインのため毎回は必要ないが、適宜実施されている。	強い問題点があるとすれば、時間がかかってしまうこと	集団活動などではプログラム終了後に担当したセラピストで振り返りを行い、次回の活動方針を決めるようにしている。			個別指導ではS Vが定期的に入る他、声を掛け合いながら毎日何かしら職員間で議論が行われています。しかしどの職員も支援を抱え込まないように、困った点がないか等の声掛けを頻度を上げて行っていきます。
日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	システムが確立されており、素晴らしい						課題構成システムで作成した課題を元に記録をつけています。記録の付け方が適切であるか、日々見直してまいります。
定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0							
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議自体があまり開催されることがない					

設問	回答（人）		職員の意見					改善点・目標
	はい	いいえ						
母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	保護者の同意を得た上で幼稚園・保育園や通っている療育機関等と連携をとるケースも有る					
（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	医療的ケアや重症心身障がいのある子どもがいない							
（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	医療的ケアや重症心身障がいのある子どもがいない							
移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	保護者の同意を得た上で幼稚園・保育園と連携をとるケースも有る					
移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	2	依頼があった場合に就学情報シートを作成しています。	保護者より依頼があった場合には、通じて就学支援シート等を作成し就学先へ伝えてもらうようにしている				現在は就学支援シート等も依頼があった場合の対応となっていますが、今後さらなる移行支援の充実について検討していきたいです。
他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1						希望する職員には研修参加の時間が確保できるよう、支援時間や職員の調整を行いたいです。
保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	7	ニーズが今のところあまりなく、実施していません。	個別指導を主としており、通所される時間も短時間であるためそのような機会は設定していない				保護者からのニーズが高まった場合には検討していきたいと考えています。
（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	2						

設問	回答 (人)		職員の意見					改善点・目標	
	はい	いいえ							
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	始動時間の前後に保護者との時間を必ず設けている。	ペアレントトレーニングに重きを置いているので、保護者との共通理解に万全を尽くしていると思う	ペアレント・トレーニングを含むプログラムを提供しているため、保護者とはこまめに課題の内容を共有し、ご家庭でも活かせるようにお伝えしている。				
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	9	0	通所開始の段階でペアレントトレーニングを行っています。	保護者が家庭で取り組みやすいよう、家庭に合わせて支援内容を変えている。	ペアレントトレーニングに重きを置いているので、保護者支援は手厚いと思う	全ご家庭ペアレント・トレーニングを含むプログラムを受講されている。			すべての利用者様に一定の期間ペアレントトレーニングを実施していますが、実施内容や質等の面では常に振り返りの姿勢を持ちながら事業所として研鑽を積んでいきたいと考えています。
運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0							
児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	0							
定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	利用時に毎回保護者と話す時間を設けているため聞き取りの時間の確保はできているが、今後は利用の前後だけでなく、悩みや相談をメインとした時間を設けることも検討が必要。	丁寧に保護者に対して話している。	ペアレント・トレーニングを含むプログラムでは、ご家庭での悩みをお聞き取りして課題に落とし込むようにしている。				プログラムによってはお子様の支援と保護者の方のお悩み相談の時間をセットで提供していますが、より広くお悩みについて回答できる場が運営上設けられるかどうか事業所として検討していきます。
父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2	任意参加の研修の中では交流の機会を作れるよう工夫していますが、コロナ禍で難しい状況もあります。	コロナで保護者への研修がオンラインで開催しているが、来所日が近いご家庭同士をペアリングしたりして交流のきっかけを作れるようにしている。	父母の会はないが、保護者向け研修会（オンライン）で顔を合わせの機会を作っている。より保護者同士がつながるには至っていないため、検討も必要。	任意参加での勉強会を開催している			オンライン研修で交流の機会を設けていますが、現時点で保護者様同士の連携に至っていないのが実情です。オンライン研修の在り方を見なおす他、新型コロナウイルスの感染状況等もみながら交流の方法を検討していきます。

設問	回答（人）		職員の意見					改善点・目標
	はい	いいえ						
子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0						
定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	3	避難訓練等の行事のお知らせはメール等で行っている。	会報ではないが、必要な情報は玄関付近への掲示やメール等でお知らせしている。				行事等があまりないため、事業所からの連絡はメールが基本となっております。保護者様のICTの利用状況や連絡の重要度に応じて、メール以外の連絡方法を柔軟に使用していきます。
個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	0						
障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0						
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	7						
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	0	マニュアルの整備はもう少し進めたいです。	マニュアルは、待合スペースの壁に掲示している。またお子様や保護者にも年に1度避難訓練に参加してもらっている				B C Pの作成を進めていきます。
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0						
事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	2	予防接種、服薬については把握しきれいなため改善が必要。	情報シートをまとめてすぐに参照できるようにしている				お子様の情報シートの項目について、項目の追加が必要か検討致します。
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	6	食べ物を提供する機会が少ないが、提供する場合には確認をしている					こちらから食べ物を提供する場合、アレルギーがないか等保護者に確認を取っていますが合わせて医師の指示について確認するようにしていきます。
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0						
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0						
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	1	身体拘束を行っているお子さんがいない。					身体拘束を行うお子さんはおらず、身体拘束を極力行わない形で療育を実施しています。事業所として現時点で身体拘束を行うことは考えていませんが、今後やむを得ず必要なことがあれば、正規の手続きを経て行うようにしていきたいです。